

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故  |
| 2. 体験した事例の名称    | 火災現場における火炎の輻射熱による消防隊員の両手背部の熱傷事案           |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 火災による熱気と、注水し高温となった水がケブラー手袋の生地を透過して熱傷したもの。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 放水活動に集中していたため、冷却等の自衛処置を行わなかったため。          |

#### 【体験した事例の直接的原因について】

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

#### 【体験した事例について】

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 21 年 5 月 26 日 午前 2 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                        |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：道路狭隘地区(民家密集地)         |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。          |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。    |
| 6. どのようなことが起きたのか<br>(起きそうになったのか) | 火傷・熱傷、                   |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動中期、 [ 防火建造物 ]      |
| 8. (7の活動中)<br>どのような作業中に発生したか     | 放水活動、                    |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                 |

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                        |   |
|------------------------|---|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 22 ]歳、 勤続年数[ 3 ]年、 現場経験年数[ 3 ] 年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 1 年に数度 ]、 任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者 B                 | 年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、<br>同様の活動 [ ]、 任務 [ ]                       |
| ○当事者 C                 | 年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、<br>同様の活動 [ ]、 任務 [ ]                       |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |   |

## 11. 事例発生の経過。

|       | 誰(何)が | なにをした      | その他・備考など |
|-------|-------|------------|----------|
| 経過 1  | 隊員    | ホース延長を開始した |          |
| 経過 2  | 隊員    | 放水を開始した    |          |
| 経過 3  |       |            |          |
| 経過 4  |       |            |          |
| 経過 5  |       |            |          |
| 経過 6  |       |            |          |
| 経過 7  |       |            |          |
| 経過 8  |       |            |          |
| 経過 9  |       |            |          |
| 経過 10 |       |            |          |

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかつた。危険事象の対応方法を知らなかつた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 はい
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 いいえ
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | はい  |
| ・暑かった（寒かった）。     | はい  |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。    | いいえ |

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |    |
|----------------|----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。    | はい |

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

## 【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

### ○注意力欠如、焦り等の対策について

一つの事案に集中することなく、気持ちに余裕を持って現場活動全体に注意を行う。～個人  
火災現場において隊員が最も熱を感じやすい身体部分は手部であるため、手部の温度変化に留意して活動を行  
う。～消防本部

### ○装備・資機材の対策について

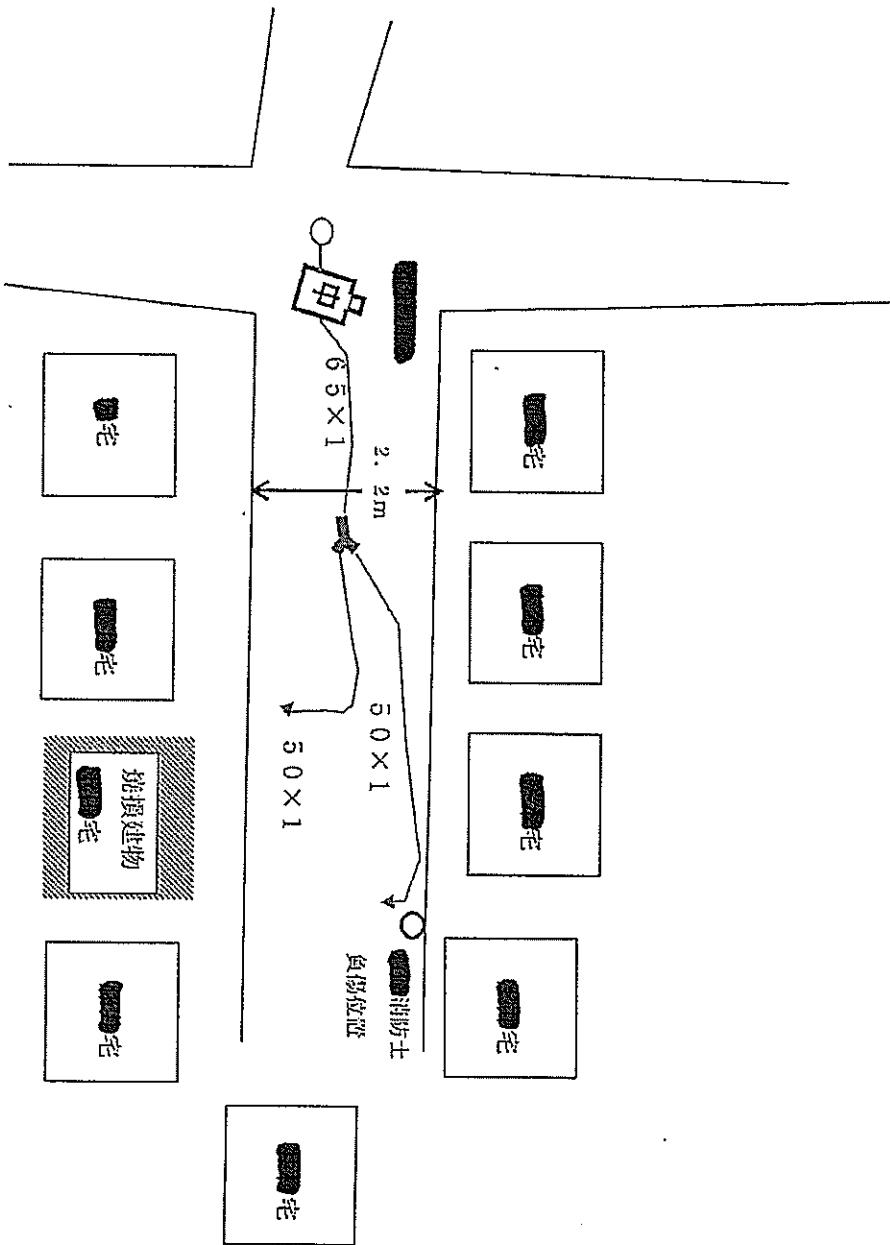
本事例について、各隊現場指揮者にて各隊員へ周知を図るとともに、火災現場における安全管理行動について再認識を図った。～署所  
ケブラー手袋の構造等について、安全管理面の視点を重点に再検討を行う。～消防本部

### ○活動環境の対策について

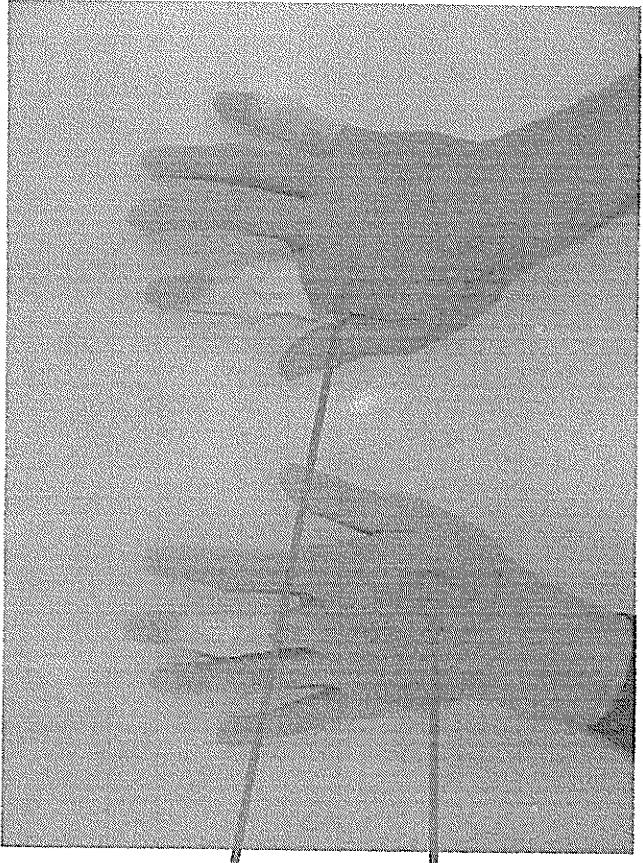
### ○指揮・情報伝達の対策について

火災防ぎよ図及び負傷場所位置図

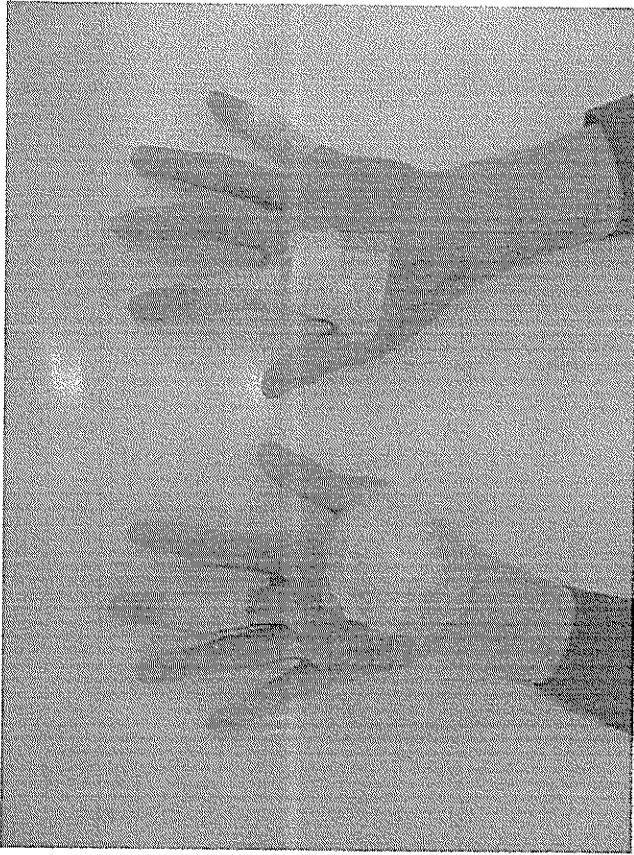
N△+



 消防士負傷部位

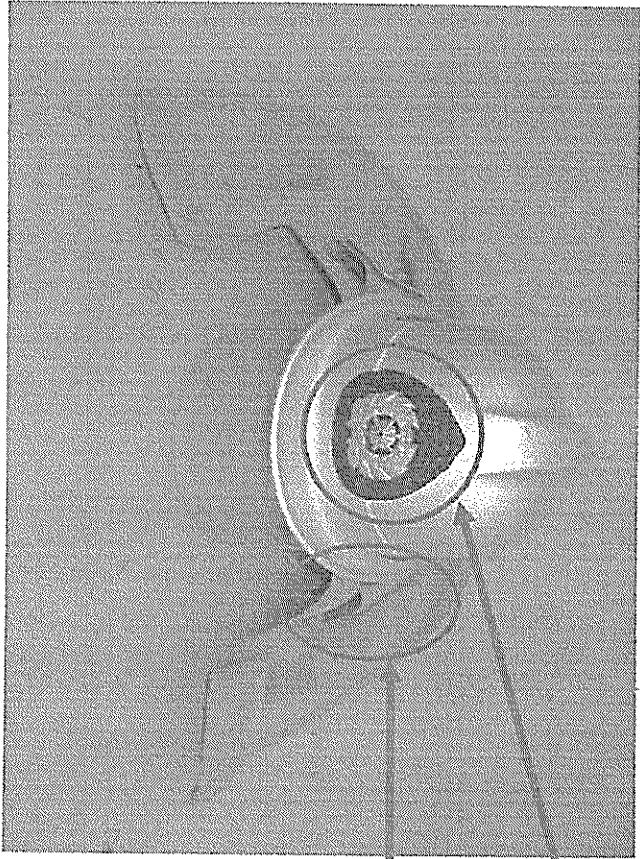


水疱  
縦 3cm  
横 1.3cm



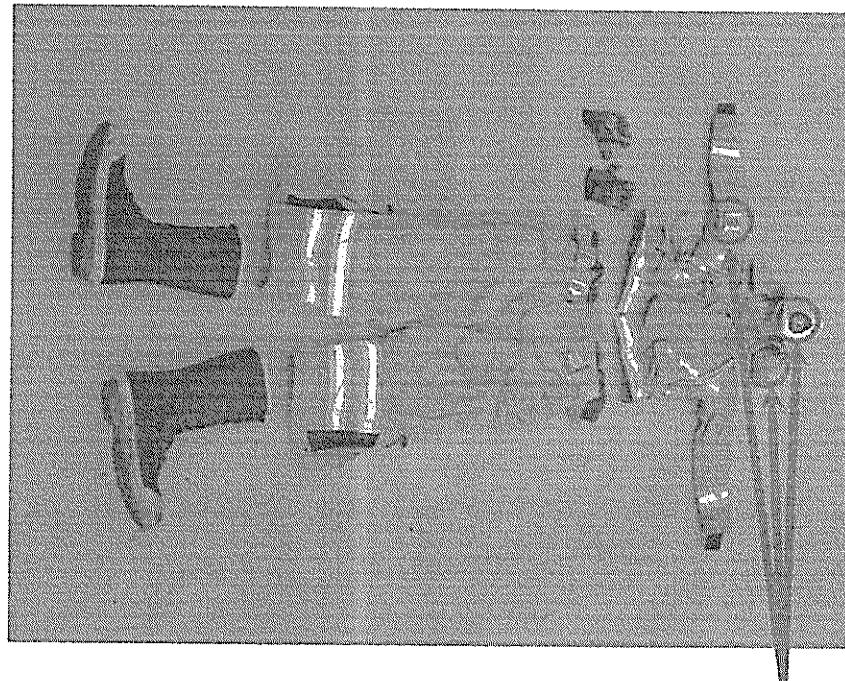
水疱  
縦 3cm  
横 1.5cm

## 防火服等の状況



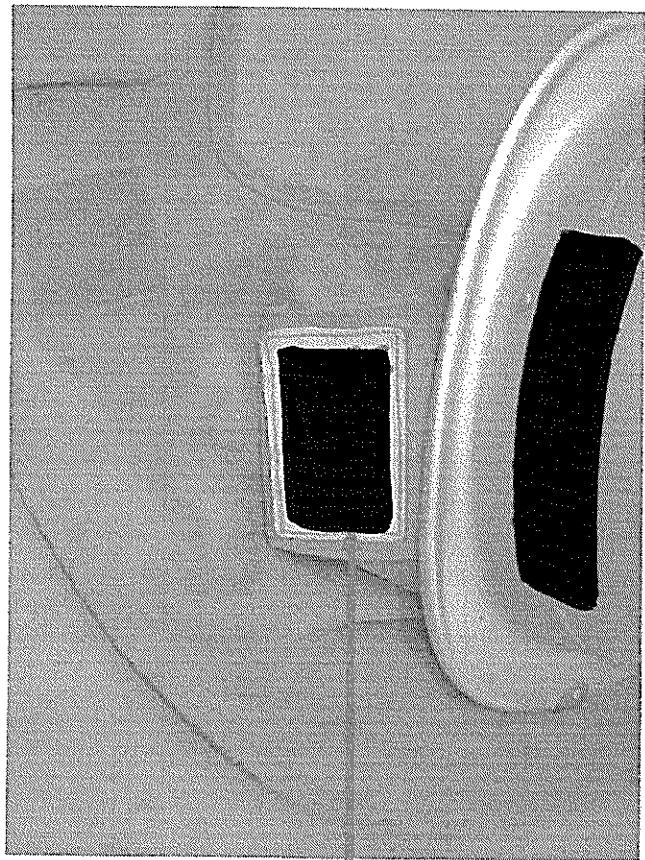
表面に小さい  
水滴状の変形

所属隊名の  
表面に凹かな  
凹凸(ザラツキ)

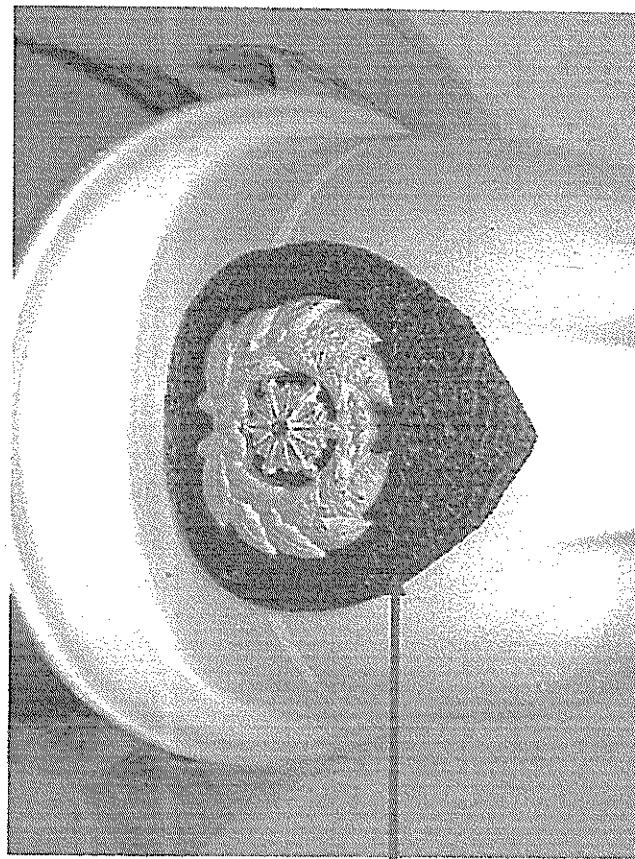


熱による表面的  
変形がみられる箇所

## 防火服等の状況

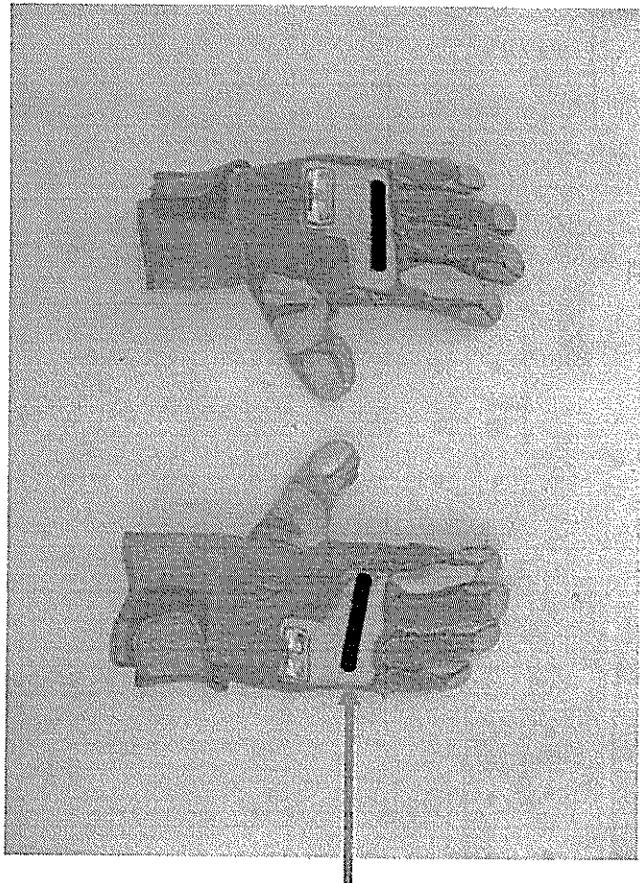


表面のザラツキ

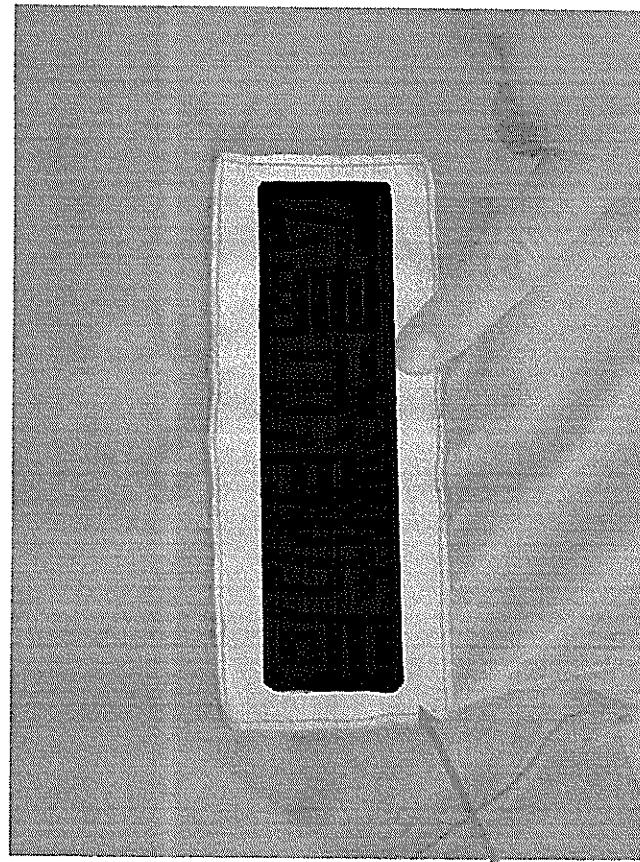


水泡状の凹凸

## 防火服等の状況



熱による  
変形等なし



熱による  
わざかな変形